

エイズ教育(性教育)推進地域事業実施要項

1 趣旨

エイズを予防する能力や態度を育て、エイズに対するいたずらな不安や偏見を払拭^{ふつしよく}することを目的とするエイズ教育を推進するとともに、人間尊重、男女平等の精神に基づく性教育の一層の充実を図る必要がある。このため、小学校、中学校及び高等学校を含むエイズ教育(性教育)推進地域(以下「推進地域」という。)を指定し、学校・家庭・地域の連携によるエイズ教育(性教育)の実践研究を行い、その成果の普及を図る。

2 推進地域の対象

都道府県教育委員会は推薦するに当たって次の点に留意するものとする。

- (1) 推進地域は、原則として各都道府県当たり1地域とすること。
- (2) 推進地域は、1市区町村の全域又はその一部とすること。
- (3) 推進地域は、小学校、中学校及び高等学校がそれぞれ1校以上参加する地域とすること(盲学校、聾^{ろう}学校及び養護学校も研究に参加することができる)。
- (4) 推進地域は、関係機関の協力が得られる地域とすること。

3 推進地域の推薦及び指定

文部科学省は、都道府県教育委員会が別紙様式1の事業計画書に基づき推薦するものの中から推進地域を指定する。

4 指定期間

原則として3か年間とする。

5 事業内容

- (1) 児童生徒の発達段階や地域の実態に応じたエイズ教育(性教育)のための各学校種別ごとの指導計画の研究と実践
- (2) エイズ教育(性教育)を実施するための学校種別間及び関係機関との連携の在り方に関する研究
- (3) 各学校と家庭との連携の在り方に関する研究

6 事業の運営上の留意点

- (1) 市町村教育委員会は、文部科学省及び都道府県教育委員会の指導及び助言の下に事業を進めるものとする。なお、事業の円滑な運営を図るためエイズ教育(性教育)推進委員会(以下「推進委員会」という。)を設置すること。

- (2) 推進委員会は、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、参加する学校、関係機関(保健所等)、保護者の代表、学識経験者等で構成すること。
- (3) 推進地域内の国立学校、都道府県立学校又は私立学校が研究に参加する場合には、当該推進地域を包括する市町村教育委員会は本事業の実施のため、これらの学校における円滑な推進が図られるよう、関係機関と十分協議すること。
- (4) 市町村教育委員会は、第1年度及び第2年度の終わりに研究の中間報告書(別紙様式2)を、また、研究終了後速やかに研究報告書(別紙様式3)を作成し、都道府県教育委員会を經由して文部科学省スポーツ・青少年局長に提出すること。
- (5) 市町村教育委員会は、研究報告書等の配布、講演会や研究発表会の開催等により、研究成果を公表すること。

7 連絡協議会の開催

文部科学省は、推進地域事業の適切な運営に資するため、エイズ教育(性教育)推進地域連絡協議会を毎年度1回開催する。

8 経費

- (1) 都道府県教育委員会は、原則として、前年度の2月末日までに別紙様式4の所要経費調書を毎年度文部科学省スポーツ・青少年局長に提出すること。
- (2) 文部科学省は、推進地域事業に要する経費(諸謝金、印刷費等)を予算の範囲内で、都道府県関係機関に支出委任する。なお、経費については、別途連絡する。

9 その他

文部科学省は、必要に応じ、本事業の実施状況及び経理処理状況について、実態調査を行う。

エイズ教育(性教育)推進地域事業計画書

都道府県名

1 推進地域の 範囲・人口	範囲 (市区町村等名)						人口 (前年・5・1)	人
2 推進地域内の 学校数・児童生徒数 (前年・5・1)	小学校 人	中学校 人	高等学校 人	校 人	盲聾養 養	校 人	校 人	校 人
3 推進地域の 特色								
4 事業内容及 び事業計画の 概要								
5 事業の運営 組織								
6 備 考								
7 担当部課等	市 町 村 教育委員会	(所在地・電話)			(部課名)		(担当者名)	
	都 道 府 県 教育委員会	(所在地・電話)			(部課名)		(担当者名)	

別紙様式2(日本工業規格A4縦型)

平成 ~ 年度エイズ教育(性教育)
推進地域事業(第 年次)中間報告書

都道府県名

推進地域 教育委員会名		代表者 職・氏名	
----------------	--	-------------	--

○ 推進地域内の学校数及び児童生徒数(前年・5.1現在)

区分	小学校	中学校	高等学校	特殊教育 諸学校	計
学校数					
児童生徒数					

○ 推進中心校の学校名等

区分	学校名	校長名	学級数	児童 生徒数	教員 職数
小学校					
中学校					
高等学校					
特殊教育 諸学校					

1 学校・家庭・地域が連携したエイズ教育(性教育)の全体像
(1) 研究主題(目標)
(2) 運営(推進)組織

2 学校におけるエイズ教育(性教育)の推進
(1) 実践研究の実施状況(平成 年度)
例) 実践研究活動の内容
家庭、地域等との連携状況
(2) 実践研究の成果と今後の課題

3 社会教育におけるエイズ教育(性教育)の推進
(1) 実践研究の実施状況(平成 年度)
例) 実践研究活動の内容
関係機関等との連携状況
(2) 実践研究の成果と課題

4 その他

注)1 分量は、A4版2枚程度でお願いします。

2 研究紀要等、参考資料を添付してください。

都道府県名 _____

推 進 地 域 教育委員会名		代 表 者 職・氏名			
○ 推進地域内の学校数及び児童生徒数					
区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	特殊教育 諸 学 校	計
学 校 数					
児 童 生 徒 数					
○ 推進中心校の学校名等					
区 分	学 校 名	校 長 名	学 級 数	児 童 生 徒 数	教 員 職 数
小 学 校	(市 町 村 立) 小 学 校				
中 学 校	(市 町 村 立) 中 学 校				
高 等 学 校	(都 道 府 県 立) 高 等 学 校				
特 殊 教 育 諸 学 校	(都 道 府 県 立) 学 校				

- 1 学校・家庭・地域が連携したエイズ教育(性教育)の全体像
 - (1) 目標(研究テーマ)
 - (2) 運営(推進)組織
 - (3) 実践の経過及び内容
- 2 学校におけるエイズ教育(性教育)の推進事業
 - (1) 小学校・中学校・高等学校・特殊教育諸学校が連携して行った事業
 小学校・中学校・高等学校・特殊教育諸学校間の連携組織
 (特に、推進中心校の役割が分かるように)
 連携事業の具体例
 - (2) 各学校における取り組み(学校段階ごとに作成)

小学校

- ア 目標(テーマ)
- イ 年間指導計画
- ウ 各領域ごとの指導内容
- エ 指導に当たって留意した事項
- オ 教材・教具の工夫等
- カ 指導の成果

中学校

- ア 目標(テーマ)
- イ 年間指導計画
- ウ 各領域ごとの指導内容
- エ 指導に当たって留意した事項
- オ 教材・教具の工夫等
- カ 指導の成果

高等学校

- ア 目標(テーマ)
- イ 年間指導計画
- ウ 各領域ごとの指導内容
- エ 指導に当たって留意した事項
- オ 教材・教具の工夫等
- カ 指導の成果

特殊教育諸学校

- ア 目標(テーマ)
- イ 年間指導計画
- ウ 各領域ごとの指導内容
- エ 指導に当たって留意した事項
- オ 教材・教具の工夫等
- カ 指導の成果

3 社会教育におけるエイズ教育(性教育)の推進事業

- (1) 事業の内容
- (2) 事業の成果

4 エイズ教育(性教育)推進地域事業の成果及び今後の課題

- (1) 事業全体の成果
- (2) 今後の課題(1~3の各事項について)

(注) 分量はA4版7枚程度以内でお願いします。

原稿は、パソコンソフト(一太郎又はワード)で作成していただき、提出に当たっては、フロッピーでお願いします。

なお、パソコンソフトが無い場合は、ワープロ原稿を提出してください。

○ その他、研究紀要等、参考資料を添付してください。

別紙様式 4

所要経費(支出委任希望額)

平成 年度エイズ教育(性教育)推進地域事業に要する経費

(県教育委員会)

(単位：千円)

経費項目	金額	積算内訳
1 諸謝金		
2 委員等旅費		
3 教職員研修費		
(1) 印刷製本費		
(2) 通信運搬費		
(3) 会議費		
(4) 消耗品費		
(5) 借料及び損料		
(6) 雑役務費		
合計		

* 各経費(諸謝金、委員等旅費、教職員研修費)については、予算の範囲内で支出委任するものとし、原則として前年度と同額程度とする。